

瞳輝く！ 七城！



発行者 土田 健史

いじめや差別を許さない、なくす側の人間に!!

人権、仲間、命について本気で考えた!! 人権集会開催!!

7月9日(木)に、生徒会学級委員会を中心とした「校内人権集会」を、七城公民館にて実施しました。各学年でこれまで学習してきた人権学習をもとに、各学年で学びや思いを語っていきました。

1年生では、中学校生活の中での初めての人権学習ということで、「各個人の人権スローガン」を決め、学級・学年の人権スローガン作成につなげ、9月の集団宿泊教室でフィールドワークを行う「水俣病学習」についての学びを発表しました。

2年生では、平和学習で、太平洋戦争の沖縄戦について学んだこと、学んでいくうえで見えてきた「命の尊さ」や「平和って何?」という新たな問いなど、現実世界の動向を交えた学びについて発表しました。

3年生は、「菊池恵楓園」でのフィールドワークから学んだ「ハンセン病回復者への差別」や「正しいこと知ることの大切さ」「家族、故郷への思い」そして「黒川温泉差別事件」での差別の現実と差別のおかしさについての発表でした。

それぞれの発表は、学んだこと(正しいこと)の発表だけではなく、学びの中で感じた生徒たちの思いがたくさん発表され、聞いている生徒たちも「前のめりになる」ような聞き入りぶりでした。

各発表での「返し」では、たくさんの生徒たちから手が上がり、感想や聞いた側としての学びや思いが次々に語られていきました。

最後に、学級委員会から、「今の七城中学校生徒の現状」が語られました。学級委員会では、全校生徒を対象としたアンケートを実施し、多様な「気になる一言」で傷ついている仲間がいる現状や、「周りの人」は何をしているのか?などの課題があげられ、『思いやりのある言葉であふれる七城中学校を作ろう』とのメッセージが発表されました。

校長からも、「本当にこの七城中は平和なのか?(戦争はないのか?)」「悪口、陰口、告口」などについて生徒たちに問い、SNS内でのやり取りを含めた「人と人とのつながり方」について考えてもらいました。

学級委員会のメッセージ『思いやりのある言葉であふれる七城中学校を作ろう』が、実現できるように、全校生徒、全職員で取組を進めていきます。

七城中
ホームページ
QRコード